

感情コントロールに課題を抱える 高次脳機能障害者への支援

～認知と行動に焦点をあてたグループワークの試行～

はじめに

障害者職業総合センター職業センターにおいては、休職中の高次脳機能障害者を対象とした職場復帰支援プログラム、就職を目指す高次脳機能障害者を対象とした就職支援プログラムの実施を通じ、障害特性に起因する職業的課題への補完行動の獲得による作業遂行力や自己管理能力の向上、及び職業的課題に関する自己理解の促進に資する支援技法の開発を進めています。

高次脳機能障害者の中には、怒りや不安、抑うつといった感情のコントロールに課題を有する方がみられます。感情のコントロールに課題があると、支援プログラムの受講やその後の安定的な就労に支障をきたすおそれがあり、その支援は大変重要ですが、支援困難度が高く、技法開発ニーズの高い課題でもあります。

こうした状況を踏まえ、職業センターでは、障害者職業総合センター研究部門と連携して、平成28年度から平成30年度において「感情コントロールに課題を抱える高次脳機能障害者への支援技法」の開発に取り組みました。

本報告書では、高次脳機能障害者の感情に関連する課題についての文献調査及び国内外の先駆的な取組をご紹介しますとともに、これらの取組を参考に当センターで実施した講習の開発経過や内容、今後の展開などについて解説しています。

本報告書が、高次脳機能障害者の就労支援の現場で活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

なお、本支援技法の開発にあたり、専修大学人間科学部心理学科の岡村陽子先生から、専門的知見に基づきご助言を賜りました。深く感謝申し上げます。

平成31年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター
職業センター長 児玉 順子